

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		大野南地区まちづくり会議(第4回全体会)		
事務局 (担当課)		大野南まちづくりセンター 電話042-749-2217 (直通)		
開催日		令和7年11月18日 (火)		
出席者	委 員	19人 (別紙のとおり)		
	その他	3人 (こども施設課2名、その他1名)		
	事務局	2人		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 題 (1) 児童クラブ、こどもセンター、児童館の職員募集について (2) 大野南地区まちづくりを考える懇談会について (3) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について 4 閉 会		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(●は委員の発言、◇はその他各課・機関等の発言、□は事務局の発言)

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議題

#### (1) 児童クラブ、こどもセンター、児童館の職員募集について

こども施設課から説明を行った。

《主な意見・質疑等》

●令和8年度に小学校6年生まで受け入れを行う学校が、緑区に集中している理由は。(渋谷委員)

◇受け入れ体制が整ったところから順次受け入れを始めることとしており、体制整備ができれば、6年生までの受け入れを全市に広げたい。(笠間総括副主幹)

●3年生までの受け入れで待機児童が生じている状況なのに、なぜ対象年齢を拡大するのか。まずは、待機児童の解消をすべきではないのか。(速水委員)

◇優先順位としては、ご指摘のとおりである。場所と人の確保に努めており、3年生までの待機児童の解消とともに、4年生まで拡大を行いたいと考えている。(笠間総括副主幹)

●有資格が不足している状況であり、人が集まらないのではないかと。市役所の他の業務への影響があるのは理解しているが、それでも賃金を上げないと人が集まらないのではないかと。(速水委員)

◇ご指摘のとおり他の職員の体系と併せており、決まった額にならざるを得ない。年齢制限はないので、時間がある方などがいらっしゃればお願いしたい。なお、補助員として2年以上の実務経験があれば、研修を受けていただき支援員になることも可能である。協力いただけそうな方がいれば、市からお声がけさせていただきたい。(笠間総括副主幹)

●運営委員長会議を開くようお願いしているが、コロナ以降開催されておらず意見交換ができていない。課題として、派遣職員が配属されている場合に、派遣職員と指導員の業務が均一でなく、児童クラブなどの性質上、不測の事態が生じた際に、派遣職員は対応しない事例がある。他にも、給料面の問題もあり、職場内の状況があまり良くないと聞いている。対象年齢の拡大の前に、こういった問題を解決する必要がある。以前はこども施設課の職員も会議に出席していたが、近年参加もしていない。個別に課題も違うので、個々に状況をみて、課題を抽出し、解決する必要がある。また、長期休暇（夏休みなど）の際には、午前中の勤務も必要であり、時期によって勤務時間帯が異なり働きづらい。そういったことも解決しないと人が集まらない。最近では、多動など様々なお子さんもいるので、派遣職員では難しいのではないかと。待遇を改善して、長期的な展望をもって、人を募集する必要がある。まちづくり会議で説明するのではなく、個別の児童クラブの運営委員会などで、直接話をすべきではないかと。(中村委員)

◇勤務する職員の負担軽減については検討しており、現場を確認する必要についても、ご指摘のとおりである。こちらでもできるだけ出席するようにしているが、対象年齢の拡大もあるので、今後も出席できるように調整したい。(笠間総括副主幹)

●支援員や補助員の配置人数の規定はあるのか。(岡城委員)

◇目安としては、40名の児童に対して、支援員、補助員の1名ずつとなっている。ただし、活用スペースなどの都合上、物理的に離れている場合は、それぞれに配置が必要となる他、勤務シフトもあるので、概ね各施設6名程度が必要となる。(笠間総括副主幹)

●地区の民生委員児童委員協議会の会議で本件に関するお声がけはさせていただく。(岡城委員)

●会計年度職員の枠組みは理解しているが、その上で、それでは集まらないとの意見であり、積極的に改善しないと、人の紹介につながっていかない。また、募集案内から、人員不足に関する切迫感が伝わってこないのを、改善されたい。(藤井委員)

●会計年度職員として公務員になるのであれば、資格や罰則規定などについても明記した方がよい。(島田委員)

◇案内や面接の際には、細かい点についても説明したいと考えている。(笠間総括副主幹)

## (2) 大野南地区まちづくりを考える懇談会について

懇談会におけるテーマについて検討を行った。

### 《主な意見・質疑等》

●子育てに関して、児童クラブの不足に触れ、運営委員会などで意見交換がなされておらず課題が未解決であることや、賃金の問題も含め、計画的に施策を検討すべきとの意見を追加した方がよい。(金澤委員)

●具体例があった方がよい。乳幼児を対象とした「子育て広場」について、ボランティアが関わっており、1回あたりいくらかの金額が出ている。当該団体に、親子サロンを丸投げしている。以前は、栄養の相談や発達相談を行っていたが、現在は民生委員の方がベビーカーの整理から手伝わされている。以前は、行政が関わっていたが、中身の把握もできていない。懇談時の受け答えの中で話す内容かもしれないが、そういった例がある。(中村委員)

●県の合同庁舎の建設が始まるが、今後警察署の移転も終わった際には、区役所の合同庁舎も改修が完了しているべきだと思う。そうすると、時間的には市としての計画が決まっていないと間に合わない。小田急の車両基地の話より、区役所合同庁舎の話をすべきではないか。(中村委員)

●大野南地区は、人口増がもたらす課題があり、公共施設も不足する。そういった視点からも、南市民ホールを残すことについても意見をしたい。銀河アリーナは公設民営で存続されることに変更されるのであれば、南市民ホールも見直してもらいたいし、ホールであれば様々な人が利用できるのを優先順位も高いと思っている。(大木委員)

●実際に自治会が解散した場合にはどうになってしまうのか。これまで自治会が担っていたことを行政が行うことなどありうるのか。(飯田委員)

- 市内では解散した単位自治会はある。大野南地区においては、解散した例はないが、自治会の活動は、行政サービスの肩代わりをしている。自治会加入率が低下すれば、より不公平感が増してしまうので、テーマとして考えている。(大木委員)
- まちづくり懇談会の趣旨として、行政に対して、意見・要望を言う場なのか。(飯田委員)
- ただ意見・要望を言う場ではないが、地域のことをわかっている立場として、単純な批判ではなく、地域も取り組む中で、課題提示を行い、解決に向けた懇談を行う場である。(大木委員)
- マンションについては、自治会に加入してもらうことは難しい。そういったところについては、行政の協力も必要である。(金澤委員)
- 例えば、行政が強制的に自治会に加入させる条例を制定することはできるのか。そもそも行政が施策として対応できる余地はあるのか。(飯田委員)
- 条例について、市でも検討していると説明があった。他にも、マンションの建築許可を出さないような検討や、行政から地域活動への参加を求めていることなど、懇談の中で話をしたいと考えている。(大木委員)
- これまでの懇談会でも、自治会加入について、市から検討している旨の回答があった。八王子市の事例や昔からのコミュニティがしっかりしている浜松市や富士市の事例などを調べておき、例として挙げながら懇談をする必要がある。また、まちづくりについても、これまでも懇談会で話をしており、橋本では見える形で進んでいる中で、人口増が続く大野南地区について、どのように発展させていくのか、踏み込んで議論をしたい。(岡城委員)
- それぞれの団体に関係性はあると思うが、自分達ができることを提案しながら、双方向で歩み寄ることが必要と感じる。(飯田委員)
- 商店街の補助金について、南区役所とも意見交換をしているが、使いづらい部分があり、また、イベント実施のために負担している金額も大きいため、少しでも補助率を上げてもらえるとありがたい。また、相模大野駅から中央公園までのルートが整備されるが、市営駐車場だけが以前のまま残ってしまうので、そちらについて触れてはどうか。(岩井委員)
- 屋上の有効利用や、厚木・小田急相模原の地下駐車場の有効利用などについて以前から意見をしているが、変化がないのが現状である。いい加減何か考えてもらいたい。(中田委員)
- コリドーの花壇や樹木について、土木事務所に要望を出しているため、懇談会でも話をしてもよいかもしれない。(三澤委員)
- 懇談会における、まちづくりに対するパートについては、商店街のどなたかにお願いしたい。(大木委員)
- 質問事項が総論となっており、曖昧な回答とならないよう、もっと具体的な事項を質問した方がよい。また、具体的な提案やまちづくり会議側の考えを含めて説明すべきである。他にも、マンションの自治会加入について、管理組合を自治会として位置づけることやマンション建設について、都市計画や地区計画で制限することを提案事項として入れてはどうか。(藤井委員)
- 次回のまちづくり会議では、内容を確定する必要がある。追加すべき事項は、まちづくりセンターに提出してもらいたい。(事務局青柳)
- 本日のまちづくり会議において出た意見について、箇条書きでまとめておいてもらいたい。(速水委員)

●これまでのまちづくり懇談会における意見があまり反映されていないように感じられるので、相手方に伝わるように、できるだけ具体的に話をした方がよい。また、「自治会の加入促進に向けた対策」と「地域コミュニティの役割分担」の説明順を入れ替え、まずは、地域が行っている現状を説明した方が相手方に伝わるのではないか。（市川委員）

### （３）各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について

●先日、コリドーでワインの酒楽祭を開催し、多くの方に参加いただき、好評であった。また、５月には日本酒で開催するので、参加いただきたい。また、「神奈川よさこいまつり」が１１月２２日・２３日で予定されており、小田急線の各会場で開催される。商店街としても、「相模大野夜さ来い街めぐり」を開催するので、ご参加いただきたい。（三澤委員）

●大野南地区自治会連合会と公民館が主催する賀詞交歓会について、招待状を配布させていただいているので、ご参加いただきたい。（大木委員）

## ４ 閉会

以 上

大野南地区まちづくり会議委員出欠席名簿

(出席者 19名 欠席者 6名)

No	団体名	団体での役職	氏名	出欠席
1	大野南地区自治会連合会	会 長	大木 恵	出席
2	大野南地区自治会連合会	副会長	金澤 秀信	出席
3	大野南地区自治会連合会	副会長	瀬戸 量平	出席
4	大野南地区自治会連合会	副会長	中村 洋子	出席
5	大野南地区自治会連合会	会 計	土山 美保	出席
6	大野南地区社会福祉協議会	会 長	渋谷 典彦	出席
7	大野南地区民生委員児童委員協議会	会 長	岡城 孝雄	出席
8	女子大通り商工振興会	会 長	飯田 美津雄	出席
9	相模大野北口商店会	副会長	角田 安弘	欠席
10	相模大野銀座商店街振興組合	副会長	中田 克己	出席
11	相模大野南新町商店街振興組合	理事長	岩井 大輔	出席
12	ボーノ会	会 長	三澤 崇典	出席
13	医療法人社団仁恵会黒河内病院	事務局長	後藤 一郎	出席
14	相模原市立鶴の台小学校PTA	会 長	山崎 みどり	欠席
15	相模原市立鹿島台小学校PTA	会 長	渋谷 隆光	欠席
16	相模原市立新町中学校PTA	会 長	市川 恵奈	出席
17	学校法人相模女子大学	常務理事	速水 俊裕	出席
18	大野南地区老人クラブ連合会	会 計	岩永 征四郎	欠席
19	相模原市立大野南公民館	館 長	島田 欣一	出席
20	相模原市立上鶴間公民館	館 長	三條 朋美	出席
21	大野南地域包括支援センター	センター長	岡本 三千	出席
22	上鶴間地域包括支援センター	センター長	古荘 祥子	欠席
23	経験有識者	—	新村 玲子	出席
24	経験有識者	—	天野 佑亮	欠席
25	公募	—	藤井 琢磨	出席



## 大野南地区まちづくり会議第4回全体会次第

日 時 令和7年11月18日（火）午後2時から

場 所 南区合同庁舎3階 講堂

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議題

- （1）児童クラブ、こどもセンター、児童館の職員募集について（こども施設課）
- （2）大野南地区まちづくりを考える懇談会について
- （3）各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について

### 4 閉 会

【次回以降のまちづくり全体会日程（会場：南区合同庁舎3階 講堂）】

○第5回全体会：令和7年12月16日（火） 午後2時から

○第6回全体会：令和8年 2月17日（火） 午後2時から

※まちづくり懇談会候補日 2月12日（木） 午後6時から

## 大野南地区まちづくり会議委員名簿

(敬称略)

No	団体名	団体での役職	氏 名
1	大野南地区自治会連合会	会 長	大木 恵
2	大野南地区自治会連合会	副会長	金澤 秀信
3	大野南地区自治会連合会	副会長	瀬戸 量平
4	大野南地区自治会連合会	副会長	中村 洋子
5	大野南地区自治会連合会	会 計	土山 美保
6	大野南地区社会福祉協議会	会 長	渋谷 典彦
7	大野南地区民生委員児童委員協議会	会 長	岡城 孝雄
8	女子大通り商工振興会	会 長	飯田 美津雄
9	相模大野北口商店会	副会長	角田 安弘
10	相模大野銀座商店街振興組合	副会長	中田 克己
11	相模大野南新町商店街振興組合	理事長	岩井 大輔
12	ボーノ会	会 長	三澤 崇典
13	医療法人社団仁恵会黒河内病院	事務局長	後藤 一郎
14	相模原市立鶴の台小学校 P T A	会 長	山崎 みどり
15	相模原市立鹿島台小学校 P T A	会 長	渋谷 隆光
16	相模原市立新町中学校 P T A	会 長	市川 恵奈
17	学校法人相模女子大学	常務理事	速水 俊裕
18	大野南地区老人クラブ連合会	会 計	岩永 征四郎
19	相模原市立大野南公民館	館 長	島田 欣一
20	相模原市立上鶴間公民館	館 長	三條 朋美
21	大野南地域包括支援センター	センター長	岡本 三千
22	上鶴間地域包括支援センター	センター長	古荘 祥子
23	経験有識者	—	新村 玲子
24	経験有識者	—	天野 佑亮
25	公募	—	藤井 琢磨

## 市立児童クラブの課題や今後の取組について

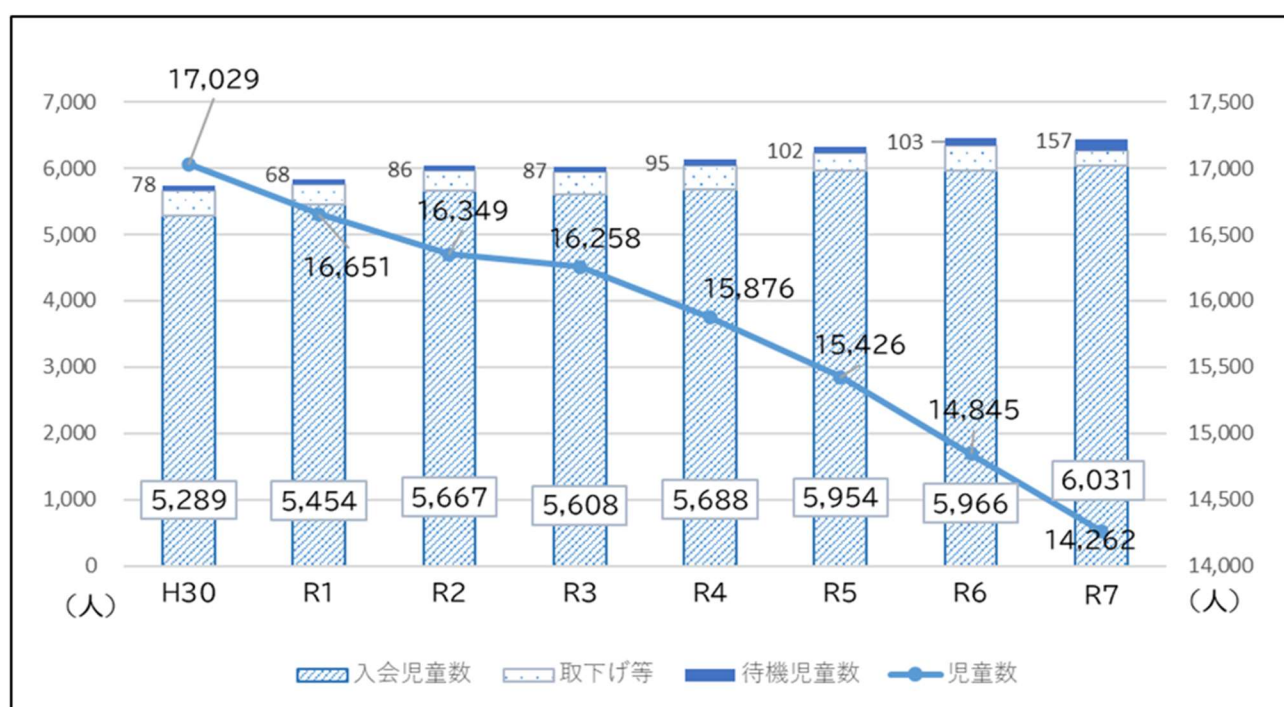
### ○ 放課後児童クラブの待機児童数等の現状及び推移

待 機 児童数	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	78 人	68 人	86 人	87 人	95 人	102 人	103 人	157 人

○R7 待機児童数 18施設 157 人

・学年別 1年生:18人 2年生:45人 3年生:89人 5年生:5人

### ○ 市立児童クラブの定員・入会児童数、待機児童数等の推移



	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
児童数	17,029	16,651	16,349	16,258	15,876	15,426	14,845	14,262
入会児童数	5,289	5,454	5,667	5,608	5,688	5,954	5,966	6,031
取下げ等	366	305	289	329	350	271	383	411
待機児童数	78	68	86	87	95	102	103	157
申請者数	5,733	5,827	6,042	6,024	6,133	6,327	6,452	6,599
定員	5,461	5,664	5,761	5,811	5,906	6,052	6,084	6,127

(参考)クラブ別待機児童数等

クラブ名	待機児童	クラブ名	待機児童
清新児童クラブ	21 人	相原児童クラブ	6 人
谷口台児童クラブ	21 人	鹿島台児童クラブ	4 人
双葉児童クラブ	20 人	星が丘児童クラブ	4 人
淵野辺東児童クラブ	18 人	内郷児童クラブ	4 人
くぬぎ台児童クラブ	14 人	田名北児童クラブ	2 人
向陽児童クラブ	13 人	二本松児童クラブ	1 人
谷口児童クラブ	9 人	九沢児童クラブ	1 人
作の口児童クラブ	9 人	相武台児童クラブ	1 人
上鶴間児童クラブ	8 人	当麻田児童クラブ	1 人

## ○ 今後の取組

### (1)受入れ対象児童の拡大

現在、市立児童クラブの受入れ年齢を、原則、小学校等の1年生から3年生(障害等により特別に支援が必要な児童は6年生)までとし、4年生又は6年生までの受入れは、モデル事業として実施。

今後は、可能な限り早期に市内全域で受入れ年齢を6年生まで拡大することを目指し、4年生又は6年生までを受け入れる市立児童クラブの拡充を進める。

### 【令和 8 年度に小学校4年生以上の受入れを行う学校】

児童クラブの入会要件を満たし、次に指定された小学校等に通学する児童

4年生まで	<p>【緑 区】旭小学校、九沢小学校、広陵小学校、作の口小学校、当麻田小学校、二本松小学校、広田小学校</p> <p>【中央区】小山小学校、向陽小学校、清新小学校、田名小学校、光が丘小学校、淵野辺東小学校</p> <p>【南 区】大沼小学校、鹿島台小学校、上鶴間小学校、くぬぎ台小学校、桜台小学校、相武台小学校、東林小学校、双葉小学校、緑台小学校、谷口小学校、谷口台小学校、夢の丘小学校、若草小学校</p>
6年生まで	<p>桂北小学校、千木良小学校、内郷小学校、中野小学校、根小屋小学校、串川小学校、津久井中央小学校、藤野北小学校、藤野小学校、藤野南小学校、青和学園、鳥屋学園</p>

### (2)受入れ体制の整備

#### ア 場所の確保

- ・小学校等の余裕教室又は特別教室の改修を推進
- ・普通教室の時間帯利用(タイムシェア)も含めた活用の検討加速化

## イ 職員の確保・質の向上

- ・民間派遣職員等の活用
- ・民間求人媒体の活用
- ・各地区まちづくり会議や自治会長会議などの機会を捉え、地域人材の掘り起こしに向けた協力要請
- ・自治会掲示板・地域情報紙を活用した地域での人材発掘
- ・大学連携や公共施設等への働き掛けによる夏季期間中の補助員の確保
- ・職員の定着化及び採用ミスマッチの解消のため、イベント等の機会を捉えた仕事の魅力発信
- ・現役支援員、補助員からの人材推薦の活用
- ・期末手当及び勤勉手当の支給
- ・書類作成業務及び電話対応業務における、ICT(入退室管理システム)の導入

### 【職員の確保状況】

各5月1日現在(単位:人)

区 分 \ 年 度	R2	R3	R4	R5	R6
入会児童数	5,667	5,608	5,688	5,954	5,966
待機児童数	86	87	95	102	103

児童育成支援員数	450	441	434	429	437
児童育成支援補助員数	757	762	749	765	768
合計	1,207	1,203	1,183	1,194	1,205

(兼務含む)

### \*職員の年間増減

各3月31日現在(単位:人)

採用者数	165	202	294	293	307
退職者数 (任期満了を含まない)	136	132	138	119	141
差引	29	70	156	174	166

# 児童クラブ、こどもセンター、児童館

## 職員大募集中



### どんな仕事内容ですか？

募集中の職種は、「児童育成支援員」と「児童育成支援補助員」の2種類です。それぞれの職種で、主に次のようなお仕事に当たっていただきます。

支援員	施設の運営や児童への生活指導、保護者対応、関係機関との連絡調整などの業務を中心にを行います。
補助員	支援員等の指示により児童の見守りや生活指導、支援が必要な児童への対応などを行います。



### 誰でも働くことができますか？

支援員と補助員の募集要件（資格の有無など）は次のとおりです。

支援員	①保育士又は幼稚園・小学校・中学校・高校の教諭となる資格 ②児童クラブ等での実務経験 ※①②いずれか一つに当てはまる必要があります。
補助員	資格等は必要ありません。

どちらの職種も、児童への健全育成に理解と熱意があり、児童を指導する体力がある方のご応募をお待ちしております！

### お問い合わせ

相模原市こども・若者未来局 **こども施設課**

〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15

電話 042 (769) 8370 (直通) 給与・任用班

午前8時30分から午後5時まで（正午～午後1時は除く）



## 募集している勤務先はどこですか？

下記の全施設で募集しています。  
ただし、欠員状況によっては、募集がない施設もあります。

市立こどもセンター	児童クラブ	児童館
24施設	43施設	24施設

## 勤務日や勤務時間はどれくらいですか？

支援員は「概ね週3～5日程度」、補助員は「概ね週3日程度」の勤務です。  
なお、勤務時間は、曜日や学校の長期休業等によって変わりますので、下記を参考にしてください。

勤務施設	平日	土曜・夏休み等長期休業
児童クラブ	学校終了後から19時15分まで (3～5時間勤務)	8時から19時15分まで (3時間～7時間45分勤務)
児童館	13時から17時まで (2～4時間勤務)	9時から17時まで (4時間～7時間勤務)
こどもセンター <small>※勤務体制は、右記の児童クラブシフトと児童館シフト両方の勤務となります。</small>	児童クラブシフト	
	学校終了後から19時15分まで (3～5時間勤務)	8時から19時15分まで (3時間～7時間45分勤務)
	児童館シフト	
	9時～17時まで (開館時間によって異なる場合あり)	9時から17時まで

※勤務はシフトにより異なります。

## お給料等はいくらですか？

職種	時給	備考
支援員	1,409円 <small>(※勤務条件に応じて社会保険の適用あります。)</small>	・勤務実績に応じて期末手当の支給があります。 ・勤務実績に応じて昇給があります。 ・報酬額又は期末手当の支給月数については、改定となる場合があります。
補助員	1,273円	

※通勤費は、通勤距離が2キロメートル以上の場合は、規定に基づき支給します。(徒歩通勤除く)  
なお、勤務先の施設に職員用の駐車場はありません。

## 申込方法を教えてください

こども施設課、こどもセンター、児童クラブ等にある申込書に必要事項を記入し、こども施設課(市役所本館4階)へ直接持参するか、郵送して申込みしてください。

※申込書は、表面記載の市ホームページからダウンロードすることも可能です。  
※直接持参の場合は必ず事前に連絡の上、お越しください。  
※提出された写真、申込書は採否に関わらず返却いたしませんので、ご承知おきください。  
※支援員の職種を希望する方は、資格を証明する書類が必要となりますので、申込書と一緒に提出してください。(詳しい資格要件は、市ホームページからご確認ください。)

採否は、申込後、面接試験により決定します。  
みなさまの沢山のご応募をお待ちしております。

児童育成支援員・児童育成支援補助員を追加募集する施設

こども施設課

区	小学校名	クラブ名	所在地区	学区のある地区
緑区	二本松小学校	二本松児童クラブ	橋本	橋本
	相原小学校	相原児童クラブ		
	旭小学校	旭児童クラブ		
	当麻田小学校	当麻田児童クラブ		
	九沢小学校	九沢児童クラブ	大沢	大沢・田名
	作の口小学校	作の口児童クラブ		大沢・横山・上溝
中央区	清新小学校	清新児童クラブ	清新	清新
	向陽小学校	向陽児童クラブ	小山	小山
	星が丘小学校	星が丘児童クラブ	星が丘	星が丘
	田名小学校	田名児童クラブ	田名	田名
	田名北小学校	田名北児童クラブ		
	淵野辺東小学校	淵野辺東児童クラブ	大野北	大野北
南区	鹿島台小学校	鹿島台児童クラブ	大野南	大野南・大野中
	谷口小学校	谷口児童クラブ		大野南
	谷口台小学校	谷口台児童クラブ		
	双葉小学校	双葉児童クラブ	相模台	相模台・大野中・大野南
	桜台小学校	桜台児童クラブ		相模台
	くぬぎ台小学校	くぬぎ台児童クラブ	東林	東林
	上鶴間小学校	上鶴間児童クラブ		
	東林小学校	東林児童クラブ		
	相武台小学校	相武台児童クラブ	相武台	相武台

## 大野南地区まちづくりを考える懇談会 検討資料

### 【検討事項】

#### ①懇談会テーマの確認

-1 内容の追加について

-2 事例などの追記について

※12月4日（木）が役員会のため11月末までに内容確定し、役員会で検討した後、12月16日（火）の全体会で最終確認を行う。

#### ②懇談会当日の役割

司 会：

発言者：

### 【懇親会構成案】

#### 1 導入

#### 2 地域コミュニティの課題

（1）自治会加入促進・存続に向けた対策について

（2）内容に応じた行政と地域コミュニティの役割分担について

#### 3 相模大野における今後のまちづくり

（1）伊勢丹跡地の状況

（2）公共財の老朽化と、需要増への対応

（3）相模大野の今後のまちづくり

以 上